

金沢大学 人間社会研究域地域創造学系（環境経済学・環境学と地域担当）公募要項

1. 職種及び募集人員：教授（任期なし），准教授（任期なし）又は講師（任期あり※）1名

※ 講師の任期は原則5年（引続いた本学在職歴を有する者については，当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。）ですが，任期中に審査を行い合格（再任）となればテニユアを付与します。

再任審査事項

- 1）講義，実習，演習，研究指導等の教育活動
- 2）論文発表，学会発表，研究資金獲得状況等の研究活動
- 3）大学及び社会への貢献等

2. 所属：

(1) 研究（教員）組織：人間社会研究域地域創造学系

(2) 教育（学生）組織：人間社会学域地域創造学類及び大学院人間社会環境研究科

※人間社会研究域では，「人と自然の共生」の研究グループを形成しており，採用後は当該グループに所属していただくことになります。

3. 専門分野：環境学・環境経済学・環境政策

※人間社会研究域地域創造学系では，地球環境の変動，災害激甚化，資源の利用・保全にみられる問題，人口縮小社会などの現代的課題に関心を持ち，環境学のなかでもとくに環境経済学の知見・視点とフィールドワークを基に国内外の地域の自然的・人文社会的環境，人間活動，資源の特性とその関係性に焦点を当て，適切な環境・資源利用の在り方，環境保全の改善・展開に資する知見を見出し，課題解決を目指して地域・社会と積極的に関わる教員を求めます。

4. 職務内容

4-1. 担当科目：

- (1) 学士課程共通教育：共通教育に関する講義・演習
- (2) 学士課程専門教育：学域GS言語科目，環境経済学，環境学と地域，人と自然の共生プログラム専門実習，人と自然の共生プログラム専門演習，その他専門に関する講義・演習，など
- (3) 大学院博士前期課程：環境経済学特論，地域と環境学特論，地域課題研究，その他専門に関する講義・演習

※上記(1)～(3)の担当科目を英語で行っていただく場合があります。

4-2. その他の業務

学類会議，系会議，研究科専攻会議への出席とその他の大学運営に関わる業務

授業外の学生指導（オフィスアワーを含む）や授業改善に関わる活動

地域創造学類の研究室活動，研究課題グループおよび他学類・学域などとの共同研究活動

入試における担当科目の出題・採点・監督等

5. 応募資格：以下の条件を全て満たすことが必要です。

(1) 博士の学位を有すること（採用時までに博士の学位を取得見込みの者も含む）。

または，それと同等の研究能力を有すること。

(2) 国籍は問わない。ただし，日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えていること

が望ましい。

(3) 採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。

6. 応募締切日：2026年1月5日（月）必着

7. 採用予定日：2026年6月1日以降のできるだけ早い時期

8. 提出書類：

下記（1）～（8）の書類を提出すること。

- (1) 履歴書（写真を貼付し、大学卒業以後の学歴・職歴を記すこと、また連絡可能な住所、電話番号、E-mail アドレスを必ず記すこと）
- (2) 研究業績（著作物、発表報告、受賞歴など。共著・単著の別を記し、共著書の場合は、分担執筆した章あるいは節等の名称及びページを記すこと。論文については査読の有無について明記し、共著の場合は共著者を列記すること）
- (3) 著作物（著書、論文等）のうち主要なもの 5 点（それぞれに 400 字程度（英文の場合は 300 語程度）の要旨を付してください）
- (4) 外部資金の獲得状況、社会貢献（科研費、その他の競争的資金、受託研究、共同研究、寄附金等について、代表・分担等の区別、研究課題名、採択年度・期間および金額を記入してください）
- (5) 講義計画：「環境経済学」と「環境学と地域」のシラバス案（日本語記載のシラバス案、英語記載のシラバス案の両方を提出してください。第 1 回はガイダンス、期末試験は第 16 回）
- (6) 過去の担当授業科目一覧（直近 5 年間）および代表的科目のシラバス
- (7) 金沢大学地域創造学類における教育並びに研究に対する抱負（1200 字程度）
- (8) 応募者に関して意見をお聞きできる 1 名の氏名、所属、職名、電話番号、E-mail アドレス

※上記（1）、（2）、（4）、（6）の書類は、本学様式を使用して作成すること。様式は、以下のページからダウンロード可能です。

<https://hss.w3.kanazawa-u.ac.jp/information/koubo/>

（5）、（7）、（8）の書類は、A4（またはレター）サイズで作成のこと（様式自由）。

9. 選考方法 書類選考：

書類選考の後、面接及び模擬授業をお願いすることがあります。その際に要する旅費等は、国内外を問わず応募者のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

10. 応募書類の提出先及び問い合わせ先

応募書類は JREC-IN Portal Web 応募にて受け付けます。

#### 【JREC-IN Portal Web 応募について】

書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめて JREC-IN Portal から Web 応募にて提出してください。

※提出書類(3)については現物のコピーを PDF 化したもののほか、出版社作成の校正原稿の PDF も可。なお、単著書については、別途、下記送付先への現物提出も可（封筒に「環境経済学・環境学と地域 教員公募書類在中」と朱書きし、簡易書留または宅配便で下記まで送付してください）。返却を希望される場合は、必要額の切手を貼付した返信用封筒（または宅配便の場合は「着払い」の送り状）を同封すること。必要な準備が無い場合は、返却いたしかねます。

【問い合わせ先・単著書送付先】

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学人間社会研究域地域創造学系 林紀代美准教授 宛

E-mail: wayafish@staff.kanazawa-u.ac.jp

※応募書類は返却いたしません。提出された書類一式（郵送で別送された単著書で、返却希望の場合（返信のための対応があったもの）を除く）は、審査等の終了後に、こちらで適切に処理、廃棄いたします。

※審査結果の理由など、選考に関する問い合わせには回答いたしません。

11. その他：

給与については、国立大学法人金沢大学職員給与規程を適用します。国立大学法人金沢大学職員給与規程、就業規則等の詳細は、下記のURLをご参照ください。

(<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>)

※金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでいます。

※金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記のURLをご参照ください。 (<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>)

※人間社会研究域では男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。また、人間社会研究域では、選考に際して研究業績及び資格に関わる評価が同等と見なされる場合には、女性を優先的に採用します。

※人間社会研究域では、女性研究者支援制度を構築し、女性研究者からの種々の相談に応じる体制を整備しています。